

Rainbow Net

レインボーネット



第42号
2026.7.1
(令和8年7月)

ひとりで悩まないで！
レインボーネットは
あなたの新しい一歩を応援します

山田湾に浮かぶオランダ島(大島)と小島(山田町)

目次 CONTENTS

- | | | | |
|------------------------|-----|---------------------------|-----|
| ●表紙 | 1 | ●宮古圏域事業所のおすすめ商品 | 6~7 |
| ●新年度に向けて | 2 | ●こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です！ | 8~9 |
| ●令和7年度事業報告・決算 | 3 | ●なんでもKEIJIBAN、編集後記 | 10 |
| ●自立支援協議会活動の円滑化と活性化に向けて | 4~5 | | |

注) 法律や制度に基づく固有名詞及び引用文は「障害」と表記し、それ以外は「障がい」と表記しています。



新年度に向けて

宮古圏域障がい者福祉推進ネット

事務局長 戸 由 忍

梅雨の晴れ間に初夏の風が心地よく感じられる季節となりました。

今年は各地でクマの出没が相次ぎ、人の生活圏にも姿を見せる状況が続いています。地域で暮らす私たちにとっても他人事ではない話題として耳にする機会が多かったのではないのでしょうか。

昭和55年夏、北海道中央にそびえる日本最大級の山岳地帯「大雪山」を自転車で縦走したことがあります。その道中、岩手では全く見たことのなかった「クマ出没注意」の看板を目にし、向かう峠越えではびくびくしながら必死にペダルを漕いだことを思い出します。当時は未舗装の道も多く、パンクしたときには「ここでパンクか…」と嘆いたものです。今となつては懐かしい記憶ですが、自然と共に暮らす地域ならではの出来事であり、今年のニュースと重なるところがあります。

さて、当法人では、今年度も日々の暮らしの中で生じるさまざまな出来事に目を向けながら、相談支援をはじめとした事業を丁寧に進めてまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(1) 職員体制

当法人の今年度の職員体制につきましましては、前年度に中途退職が3名ありまし

たが、新規採用4名により体制を再整備いたしました。職員の異動が大きかったことから、今年度は改めて力を蓄えていく一年となります。今後は、職員一人ひとりの資質向上に取り組み、より安定した体制づくりを進めてまいりたいと考えております。

(2) 相談支援

当法人の主な事業は「総合的・専門的な相談支援」です。昨年度の相談実績は、実人数841人（前年度858人）、相談件数15,386件（前年度15,602件）となりました。一人あたりの年間相談件数は18・3件（前年度18・2件）で、平均すると毎月1回以上のご相談をいただいている計算になります。今後も、利用者の皆さまから寄せられるご相談一つひとつに丁寧に向き合い、安心して相談できる体制づくりに努めてまいります。

(3) 地域活動支援センター事業

当法人の大きな事業の二つ目は「地域活動支援センター事業」です。この事業は、障がいのある方が社会とのつながりを持ち、地域で安心して生活できるよう支援することを目的に、創作活動、社会生活技能訓練（SST）、ピア・カウ

ンセリング、サークル活動、サロン活動など、多様なプログラムを実施しています。昨年度の利用者数は延べ2,627人、実施回数は365回となりました。地活センター事業は、障がい者支援の重要な柱であり、障がい者の居場所づくり、いきがいくくりにも繋がる効果があります。今後も工夫しながら事業を進めてまいります。

(4) 宮古圏域障がい者自立支援協議会

宮古圏域には「宮古地区障がい者自立支援協議会」が設置されています。この協議会は、障がいのある方が地域で自立した生活を送ることができるよう、行政、医療、福祉、教育機関などの関係機関が集まり、宮古圏域の課題を共有、支援体制やサービス基盤の整備、そして関係機関どうしの連携強化について協議する場です。レインボウネットは、この協議会の事務局業務を、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の4市町村から委託され、運営に携わっています。

協議会の中には、テーマごとに意見交換を行う「部会」があり、より良い支援につなげるための取り組みを進めています。

今年度はこの「部会」の体制を見直し、時代の変化に沿った、活動しやすい形へと再編を行いました。再編は、令和6年度と7年度の2年間にわたって検討を重ねてきたもので、みなさんにとって役立つ支援につながるよう、より良い仕組みへとリニューアルしたものです。これからも、関係機関と協力しながら、地域の支援をより深めていきたいと考えています。4つの部会を紹介します。

① そうだん支援部会

相談支援専門員や関係機関の職員が集まり、日々の相談支援で感じている課題や工夫を持ち寄りながら、より良い支援の方法を話し合います。利用者の方にとって「相談しやすい」地域づくりを目指して取り組んでいます。

② しごと支援部会

働きたい気持ちを応援するために、就労支援機関や企業、福祉サービス事業所などが集まり、仕事に関する支援の流れや連携の方法を話し合います。「働くこと」を通じて地域での生活がより豊かになるよう、支援のつながりづくりを進めています。

③ こころ支援部会

精神保健に関わる医療や福祉などの関係者が集まり、地域で安心して暮らし続けるための支援について意見交換を行っています。「こころの健康」を支えるために、さまざまな立場の声を大切にしながら活動します。

④ 子ども支援部会

子どもたちが安心して成長できるように、教育・福祉・医療などの関係者が集まり、支援の方法や連携のあり方について意見交換をします。早い段階からの気づきや支援につながるよう、関係機関が協力しながら取り組んでいます。

以上が今年度に向けたお話となります。レインボウネットは、これからも職員一人一人が真摯に仕事に向き合い、皆さまを支援し、穏やかで安心した生活ができるよう努めて参ります。皆さま方の一層のご指導とご支援、ご協力をお願い申し上げます。



令和7年度 事業報告・決算

〔I 法人運営の状況〕

- 1 会員数
 ○正会員 102 (個人69・団体33)
 ○賛助会員 16 (個人7・団体9)

2 総会・理事会・運営委員会及び会計監査

- 総会 1回 ○理事会 3回
 ○運営委員会 2回 ○会計監査 4回

3 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業の実施

- はあどふるフェスタ2025(とも)に生きる社会へ(11月22日)・11月23日 イーストピアみやこ
 内容: ①音楽いろいろ遊び ②ちかついイーストピア
 ③映画上映会 ④パネル展示

〔II 受託事業の実施状況〕

1 基幹相談支援センター事業

1 相談支援の状況

- ①相談支援の状況
 年間の相談支援延べ件数 15,386件
 ②支援会議の開催
 ・レインボーネット
 ・基幹相談支援センター等機能強化事業

2 基幹相談支援センター等機能強化事業

- ①「宮古圏域障がい者相談支援事業所連絡会」の開催
 ②「基幹相談支援センター多職種参加型事例検討会」の開催
 ③「若手県内基幹相談支援センター連絡会」における意見交換

3 地域移行・地域定着の推進

- ①地域生活移行の状況
 ・福祉施設、病院及び圏域外からの地域移行者の状況2名
 ②住宅入居支援事業(居住リポート事業)
 ・相談支援延べ人数49人

4 障害者虐待防止センター事業

- ①権利擁護に関する相談件数150件
 ②虐待に関する件数
 ・通報届出3件 うち「虐待案件」と認定した件数1件
 ③権利擁護・虐待防止に関する広報その他啓発活動
 ・宮古圏域などで11件の研修等を開催している

5 宮古圏域地域生活支援拠点事業

- ・緊急受け入れ2人 利用日数13日
 ・緊急受け入れを前提とした相談7件

2 宮古圏域障がい者自立支援協議会事務局運営事業

- (1)宮古圏域障がい者自立支援協議会(2回開催)
 (2)専門部会の開催
 ・実務担当者会議(○回開催)
 ・生活支援部会(○回開催)
 ・権利擁護部会
 ・精神保健部会
 ・発達支援部会 ※各部会とも5回開催

3 地域活動支援センター事業(基礎的事業及び機能強化事業)

- (1)運営会議(7回開催)
 (2)地活たよりの発行(毎月150部)
 (3)年間の延べ利用者数 2,627人
 活動開催回数365回

4 その他の事業

- ①高次脳機能障がい者支援事業
 ①関係会議への出席
 ②家族教室の開催
 ③高次脳機能障がい者支援事業に係る連絡会の開催
 ④研修会への出席
 ⑤医療的ケア児等支援事業
 ⑥研修会への出席
 ⑦家族教室の開催、共催

〔III 障害者総合支援法等に基づく特定相談支援事業及び一般相談支援事業〕

1 特定相談支援事業

- (1)計画相談支援 契約件数561件
 ○計画作成件数 512件
 ○モニタリング回数 1,861回
 (2)障害児相談支援 契約件数33件
 ○計画作成件数 17件
 ○モニタリング回数 64回

2 一般相談支援事業

- (1)地域移行支援 契約件数1件
 (2)地域定着支援 契約件数0件

3 障害支援区分認定調査事業

- 宮古市79件 山田町37件 岩泉町9件 田野畑村7件

〔IV 障がい者の社会参加の促進・地域福祉の充実発展に寄与する事業〕

1 広報・啓発活動の実施

- (1)機関紙の発行(2回/第40号・第41号)
 (2)ホームページによる情報提供
 (3)出前授業の実施(理解促進及び啓発事業)

- 宮古市立欽崎小学校(23名) ・宮古市立立山小学校(32名)
 ○宮古市立花輪小学校(32名) ・宮古市立山口小学校(38名)
 ○宮古市立平徳小学校(66名) ・宮古市立重茂小学校(123名)

2 研修会の実施

- 就労アシストメントに関する制度説明会 参加者13名
 ○宮古圏域発達障がい学習会 参加者71名
 ○宮古圏域発達支援セミナー 参加者47名
 ○宮古圏域「就労選択支援」勉強会 参加者36名
 ○宮古圏域地域生活支援セミナー 参加者50名
 ○精神保健福祉ボランティアフォローアップ研修会 参加者20名

3 障がい当事者等に関する懇談会等の実施

- 医療的ケア児等の家族懇談会 参加者11名
 ○なないろ茶話会(障がい児を養育する保護者との交流会) 参加者17名
 ○ピアカウンセリング「座談会」(ピアサポーターと語る) 参加者8名

〔V その他目的達成のために必要な事業〕

- 1 他の機関との連携
 ○宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク
 ・第1回 幹事会4月18日 会議6月13日
 ・第2回 幹事会10月3日 会議2月13日
 ○ふらっと寄れる小さな居場所「出張コモン宮古」
 10月10日(共催事業)
 ○卓球バレー宮古交流大会2025 第5回さんてっカップ
 11月22日(スタッフとして参加)

【レインボーネット 令和7年度決算報告】

●活動計算書

収益の部 (単位:円)		費用の部 (単位:円)	
科目	金額	科目	金額
受取会費	249,500	事業費	99,668,823
受取寄附金	0	人件費	74,553,293
受取補助金	0	その他経費	25,115,530
事業収益	112,024,580	管理費	4,963,645
宮古地区地域生活支援事業等	65,500,000	人件費	2,070,250
相談支援事業	45,919,180	その他経費	2,893,395
認定調査事業	605,400	減価償却費	0
その他収益	260,555	経常費用計②	104,632,468
受取利息	75,455	当期経常増減額①-②=③	7,902,167
雑収益	185,100	固定資産除却損④	0
経常収益計①	112,534,635	税引前当期正味財産増減額③-④=⑤	7,902,167
		法人税、住民税及び事業税⑥	1,098,900
		当期正味財産増減額⑤-⑥=⑦	6,803,267
		前期繰越正味財産額⑧	39,497,786
		次期繰越正味財産額⑦+⑧	46,301,053

●貸借対照表

【資産の部】		【負債の部】	
科目	金額	科目	金額
流動資産	51,726,182	流動負債	5,425,132
現金預金	43,634,702	未払金	3,372,145
未収金	8,091,480	預り金	26,487
前払費用	0	未払法人税等	1,098,900
立替金	0	未払消費税	927,600
固定資産	12,513,641	固定負債	12,513,638
什器備品	3	負債の部合計	17,938,770
退職給付引当資産	12,513,638	【正味財産の部】	
		前期繰越正味財産額	39,497,786
		当期正味財産増減額	6,803,267
		正味財産合計	46,301,053
資産の部合計	64,239,823	負債及び正味財産合計	64,239,823



特集
1

自立支援協議会活動の円滑化と活性化に向けて
 専門部会を再編し、新たな体制で活動を開始しました！

自立支援協議会は、障がいのある人が地域で自立した生活を送れるように、行政・医療・福祉・教育・就労機関、そして当事者や家族などが集まり、地域の課題を共有しながら支援体制やサービス基盤の整備、関係機関の連携強化などについて協議する場です。

宮古圏域の自立支援協議会は、平成19年2月に宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村・川井村の5市町村によって共同で設置されました。現在は、運営を委託されているNPO法人レインボーネット内に事務局が置かれています。

本協議会では、活動をより円滑かつ活発に進めるため、令和6年度から専門部会の再編について協議を重ねてきました。再編にあたっては、自立支援協議会の機能(表①)を踏まえたうえで、専門部会再編のコンセプト(表②)を設定しています。

そしてこのたび、新たな専門部会体制(図①・図②)での協議会活動を開始しました。ここでは、各専門部会の概要と今後の取り組みについてご紹介します。(文責・加藤伸二)

(文責・加藤伸二)



●表1 自立支援協議会の機能(役割)

1. 情報機能	○地域の現状や課題等の情報共有と情報発信の機能 ○困難事例等の情報共有と情報発信の機能
2. 調整機能	○地域の関係機関によるネットワークを構築する機能 ○困難事例への対応のあり方を協議、調整する機能
3. 開発機能	○地域の社会資源を開発する機能 ○地域の社会資源を改善する機能
4. 教育機能	○地域自立支援協議会構成員の資質を向上する機能
5. 権利擁護機能	○権利擁護に関する取り組みを推進する機能
6. 評価機能	○ミクロレベルの評価機能(個々の相談支援等の評価) ○メゾレベルの評価機能(機関、事業所、団体等の評価) ○マクロレベルの評価機能(制度や施策等の評価)

※ DINF障害保健福祉研究システム「自立支援協議会の運営マニュアル」等を参考に作成

●表2 専門部会再編のコンセプト(基本的な考え方)

- (1) 個別事例から地域課題や構造的な問題を抽出する体制を強化する。
- (2) 専門部会の名称と取り組み内容の整合性を図る。
- (3) 専門部会相互の連携を強化する。
- (4) 専門部会のマネジメント体制を整備する。
- (5) 専門部会の重点目標に中期的な視点を取り入れる。
- (6) 市町村障がい者福祉計画及び障がい児福祉計画と専門部会活動の連動性を高める。
- (7) 専門部会でのワーキンググループの積極的な活用を促進する。

圏域協議会(親会)

○委員長: 小原 拓史 (岩手県宮古保健福祉環境センター 福祉課長)
 ○副委員長: 関口 憲史 (宮古市保健福祉部福祉課 課長)

圏域協議会(親会)は、障害者などへの支援体制に関する課題を整理し、必要な社会資源の開発や改善に向けて協議を行うために設置された、本協議会の最上位に位置する会議体です。
 委員は、宮古圏域の主要な関係機関・団体の代表者によって構成されています(表③)。

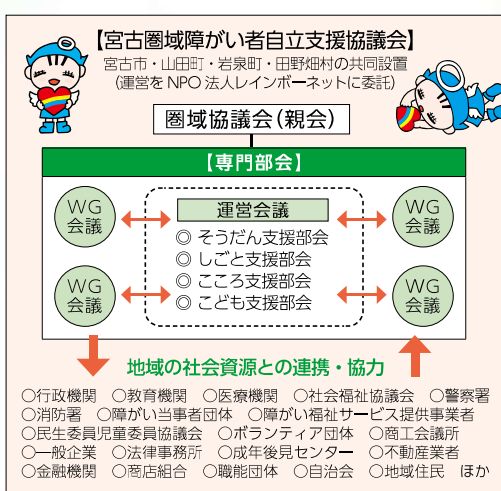
●表3 圏域協議会(親会)の委員構成

機関・団体名	職名	機関・団体名	職名
1 岩手県宮古保健福祉環境センター	福祉課長	8 田野畑村健康福祉課	課長
2 岩手県宮古児童相談所	所長	9 宮古圏域障がい福祉サービス事業者連絡会	会長
3 岩手県宮古保健所	保健課長	10 宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク	代表
4 岩手県立宮古恵風支援学校	校長	11 宮古・下閉伊地区広域社協連絡協議会	会長
5 宮古市保健福祉部福祉課	課長	12 宮古地区チャレンジド就業・生活支援センター	管理者
6 山田町長寿福祉課	課長	13 NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット	会長
7 岩泉町町民課	課長	14 相談支援事業所「まつやま」	所長

■図1 専門部会の再編(従来との対比)

- 【令和8年4月30日まで】
- ① 実務担当者会議
 - ② 生活支援部会
 - ③ 権利擁護部会
 - ④ 精神保健部会
 - ⑤ 発達支援部会
- ↓
- 【令和8年5月1日から】
- ① 運営会議
 - ② そうだん支援部会
 - ③ しごと支援部会
 - ④ ところ支援部会
 - ⑤ こども支援部会

■図2 新たな組織図(協議会全体)



新たな体制で協議会活動を開始した5つの専門部会

令和8年5月1日から、新たに5つの専門部会（運営会議、そうだん支援部会、しごと支援部会、こころ支援部会、こども支援部会）の活動が始まりました。

各専門部会は、それぞれの分野に関する専門的な知識を持つ12名の委員で構成されています。令和8年度から令和10年度までの重点課題を定め、宮古圏域における地域課題や構造的な問題について協議を進めていきます。

また、次の取り組みを実施します。(1) 定例会議 (2) ワーキンググループ会議 (3) 事例検討 (4) ミニ研修会 (5) 公開セミナー (6) 実態調査 など



運営会議

協議会全体のマネジメント強化に
取り組みます！

【重点課題】

- (1) 協議会活動に対する理解の深化
- (2) 地域生活支援拠点事業体制の推進
- (3) 運営会議と他の専門部会との連携強化
- 委員 長：石岡 直美（宮古市保健福祉部福祉課障がい福祉係 副主幹兼係長）
- 副委員長：佐藤 成那子（岩手県宮古保健福祉環境センター福祉課 主事）



そうだん支援部会

障がい者の相談支援体制の整備に
取り組みます！

【重点課題】

- (1) 障がい児・者相談支援体制の充実強化
- (2) 障がい者支援アプリの活用促進
- (3) 障がい児・者の権利擁護推進（意思決定支援 / 虐待防止 / 差別解消）
- 委員 長：石角 英（相談支援事業所「まつやま」相談支援専門員）
- 副委員長：佐々木 大雄（宮古市保健福祉部福祉課 主査兼身体障害者福祉司）



しごと支援部会

障がい者の就労支援体制の整備に
取り組みます！

【重点課題】

- (1) 就労選択支援事業の体制整備
- (2) 福祉的就労の圏域的課題の整理
- (3) 一般高校（定時制・通信制を含む）と福祉との連携強化
- 委員 長：湊 義徳（岩手県立宮古恵風支援学校 教諭）
- 副委員長：田村 拓也（多機能事業所ワークプラザみやこ サービス管理責任者）



こころ支援部会

こころのケアに関する支援体制の
整備に取り組みます！

【重点課題】

- (1) 精神障がい者（当事者）が活躍できる機会の創出
- (2) 精神障がい者家族の支援体制強化
- (3) 精神障がい者の支援者を対象としたメンタルヘルス
- 委員 長：北村 昇二（宮古山口病院医療福祉相談連携課 課長）
- 副委員長：芳賀 志津子（みなとホスピタル医療福祉連携室 室長）



こども支援部会

発達が気になる子どもの療育支援
体制の整備に取り組みます！

【重点課題】

- (1) 障がい児の放課後及び長期休暇中における支援体制の充実強化
- (2) 発達が気になる子どもの家族同士の交流促進
- (3) 医療的ケア児の支援体制整備
- 委員 長：篠澤 麻美子（山田町教育委員会事務局学校教育課 特別支援教育コーディネーター）
- 副委員長：岡崎 薫（児童発達支援センター かぐや 所長）

公開セミナー①

宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会



テーマ
自立支援協議会の円滑化と
活性化に向けて
講師
岩手県立大学社会福祉学部
客員教授 齋藤 昭彦 氏

公開セミナー②

そうだん支援セミナー



テーマ
やまゆり園事件を風化させないた
めに～ 今一度わたしたちが考
えなければならないこと～
講師
植草学園大学
副学長・教授 野澤 和弘 氏

公開セミナー③

しごと支援セミナー



テーマ
障がい者の「しごと」を地域
の一般企業と共に創る
講師
株式会社ケアート
専務取締役 金澤 堅哉 氏

公開セミナー④

こころ支援セミナー



テーマ
こころの回復
～誰も排除されない社会に！～
講師
笑いのたねプロジェクト
不登校と若者の自立を考える北上地区親の会
代表 後藤 誠子 氏

公開セミナー⑤

こども支援セミナー



テーマ
愛着障がいと発達障がいの
理解と支援のポイント
講師
みちのく療育園メディカルセンター
小児科医 川村 みや子 氏

今回の「勝手に応援し隊」は、ミヤココと菓子工房じよぶを紹介します！

ふれあいカフェ ミヤココ



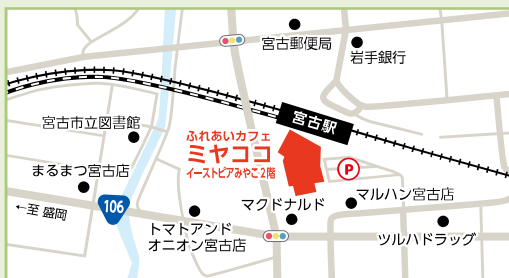
宮古市宮町一丁目1番30号
(イーストピアみやこ2階)



0193-62-2111
(イーストピアみやこ)



平日 11:00 ~ 15:00 (LO 14:45)



事業所紹介

ミヤココは、宮古市内の就労継続支援B型事業所「アトリエ Sun」「ワークプラザみやこ」「SELPわかたけ」の3つの事業所が共同で運営している、誰でも立ち寄れる開放的なカフェです。JR宮古駅と三陸鉄道を一望でき、列車を眺めながらゆったり過ごせます。コーヒーやスイーツもちろん美味しいですが、思わず注文したくなる新メニューも追加されました！市役所利用の合間や待ち時間、ちょっと気分転換したい時にも立ち寄りやすく、スタッフの日々の努力によりほっとできる憩いの場所となっています。



おすすめメニュー

1 ケーキセット

300円



ケーキは
その日のお楽しみ!
(ドリンクも選べる!!)

2 わかめラーメン & 半チャーハン

750円



わかめラーメンは
三陸名産の
わかめがたっぷり!

3 エビピラフ

600円



復活!
サラダとスープも
付いてお得。

4 ホットドッグ

420円



ウィンナーのぷりぷり感と
ケチャップ&マスタードが
絶妙!!

職員・利用者の声

- 新メニューになってからたくさんの方がいらして、忙しいけれどやりがいがあります！
- チャーハン、ピラフ、ドライカレー復活！サラダとスープも付いてお得です。
- 接客時の声の大きさや、注文の間違いがないように。
- 物（お皿や商品）を落としたりしないように。
- 配膳の仕方（特に新メニュー）間違えないように。
- 注文を受ける際、聞き間違えないように気をつけています。
- 新メニューが加わったこともあり、忙しいですが分量などのミスがないよう、気をつけながら作業しています。



特集
2

宮古圏域事業所の

おすすめ商品

菓子工房じょぶ

ジョブ・パートナー山田



事業所紹介

菓子工房じょぶのお菓子は障害者就労継続支援B型事業所 ジョブ・パートナー山田の支援員や利用者みなさんが心をこめて作っています。山田せんべいをはじめ地元で愛されてきた伝統菓子があり、またアイスドッグは種類も豊富で何度も通いたくなるお店です。冷凍フルーツ等をそのまま削って作る氷菓子は、夏の暑さにピッタリ！スタッフが一つひとつ丁寧に作業し完成するお菓子は、お腹も心も満たされます。自分へのご褒美やご家族、ご友人へのお土産に！山田町に来た際は是非お立ち寄りください。



下閉伊郡山田町境田町 9-41



0193-65-8333



10:00 ~ 17:00 (月曜定休日)



おすすめ商品

1 **山田生せんべい**
(3枚入)

300円



もちもち食感が癖になる!

2 **山田揚げせんべい**
(50g)

350円



パリパリで食べやすい
大きさ! おやつにも
おつまみにもおススメ。

3 **アイスドッグ**
(バニラアイス&キャラメルソース)

500円



アイスの程よい甘さと
サクふわのコッペパンは
最強コンビ!

4 **氷caféコーヒー**

400円



氷コーヒーのほのかな
苦みとバニラアイスの
相性抜群です!

職員・利用者の声

- おせんべいの種類によって乾燥時間が違うので、気をつけながら作業しています。
- 看板商品は生せんべい(白と黒)と揚げせんべいです。道の駅(いぐべす)限定で、揚げせんべいのお味見セット(黒揚げせんべい、塩胡椒味、磯塩味)も販売しています。
- アイスドッグは、バニラアイスが定番ですが、ソースも何種類もあり味変になって美味しいです。
- 「けずりイチゴ」は冷凍イチゴを削って作っています。
- 「しゅわぼっぷ」もソーダを凍らせて作っています。



支援センターみやこ」です!

会生活技能訓練)・ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

はあとふるサロン in 山田

5月29日、山田町織笠コミュニティセンターにおいて、町内にお住まいの当事者、家族、ボランティア、地域住民等を参加対象に、はあとふるサロン山田が行われました。

当日はチーム戦で行い、スカットボール、輪投げ、ダーツに挑戦しました。

出番の際は真剣な表情で取り組みながらも、勝ち負けに拘らずに相手方のチームの応援をする様子もみられ、楽しく交流する事が出来ました。



ダーツ

「今日は楽しい日だねえ～」
と笑顔が広がっていました😊🌟



スカットボール

輪投げ



参加者から「交流出来て楽しかった」、「このような会を開いてもらい嬉しい、今後も続けて欲しい」という嬉しい感想を頂きました。
ご協力、ご参加くださった皆さまに感謝申し上げます。

はあとふるサロンとは?

宮古圏域の関係機関と連携し、普段、「地域活動支援センターみやこ」の活動に参加出来ない遠方の地域に出向き、創作活動や表現活動・レクリエーション活動等の提供、社会との交流を行う事を目的としています。

毎月下旬に地活だよりを発行し、活動への参加をご案内しています。たよりは窓口に備付の他、ホームページでの閲覧が可能です。活動に興味のある方、初めて行くので緊張する等、まずは見学が可能です。一緒に楽しく交流しましょう😊

問い合わせ先 レインボーネット 地域活動支援センター係
TEL 0193-64-7878

地活だより
発行しています!





こんにちは、『地域活動』

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社

活動紹介

「いやし」の部屋

毎月一回ずつ開催している「いやし」の部屋は、心身のリフレッシュを目的に、癒しの手法を体感しながら精神の安定を図る活動です。主に外部講師の先生方のご協力を頂きながら実施しております。

四月の活動では、「己書」に取り組みました。講師に山崎千秋先生をお迎えし、筆ペンや絵の具を用いて制作し、素敵な作品が仕上がりに充実感に満たされました。

五月の活動では「ハンドマッサージ」を行い、講師の沼里美幸先生からハンドマッサージの施術をして頂き、ラベンダーの香りにも癒され心地良い時間でした。

今年度はこの他に、適度に身体を動かしてリフレッシュ出来る「ヨガ」、音楽の楽しさやパワーを感じる「音楽療法」等を予定しております。活動内容は様々ですが、参加した方々より「癒されました」との感想が多く聞かれ、温かい雰囲気での活動です。

5月 ハンドマッサージ



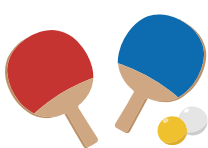
今年度の活動参加者の声

癒されて気持ちよく、リフレッシュ出来ます!(MJさん)

4月 己書



卓球



スカットボール



月に二回開催している「ナイスフレンドの会」は、卓球、スカットボール等の軽運動を楽しむ活動です。地活の活動へ初めて参加する方でも、気軽に楽しめる雰囲気です! 適度に身体を動かし、参加者で楽しく交流しましょう!!
ご参加をお待ちしております!

毎月第1水曜日:卓球
第3水曜日:スカットボール等
活動時間:午後13時30分から午後15時まで
場所:2階 地域活動室
定員:8名
※申込み先 地域活動支援センター係

ナイスフレンドの会

新任職員紹介

支援員兼事務員 中村 桃花

1月下旬よりレインボーネットに勤務しております。初めての福祉の仕事で不慣れなところはあるかと思いますが皆さんとの関わりの中で学ばせて頂こうと思っております。趣味は読書なのでおすすめの小説や漫画がありましたら是非教えてください。どうぞこれからよろしくお願いたします。

支援員 木村 光里

4月からレインボーネットに勤務しております。福祉の仕事は初めての為まだまだ分からないことだらけですが、一つひとつ学び成長していきたいと思っております。趣味はジョギングとスポーツ観戦も好きです。至らない点もあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願致します。

相談支援員 湊 美紀子

5月からレインボーネットでお世話になっております。長らく高齢者分野に携わってきた私にとっては新境地であり、不慣れなこともあるかと思っております。SSTとピアカウンセリングへのスポット的な勤務ですが、少しでも早く皆さんに馴染んで一緒に活動できたらと思っております。食べ歩きが好きで休日はお店を探してあちこちに出掛けています。おすすめのお店がありましたら教えてください。これからどうぞよろしくお願いたします。

なんでも KEIJIBAN

宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会

日時：令和8年7月28日(火) 14:00~16:00
 会場：休暇村陸中宮古 2階・リアスホール
 内容：講義「自立支援協議会の円滑化と活性化に向けて」
 講師：岩手県立大学社会福祉学部 客員教授 齋藤 昭彦氏



そうだん支援セミナー

日時：令和8年9月1日(火) 10:00~12:00
 会場：イーストピアみやこ 2階・多目的ホール
 内容：講演会「やまゆり園事件を風化させないために ~今一度、わたしたちが考えなければならないこと~」
 講師：植草学園大学 副学長・教授 野澤 和弘氏 (元毎日新聞論説委員)

こども支援セミナー

日時：令和8年10月31日(土) 13:30~15:30
 会場：イーストピアみやこ 2階・多目的ホール
 内容：講演会「愛着障がいと発達障がいの理解と支援のポイント(仮題)」
 講師：みちのく療育園メディカルセンター 小児科医 川村 みや子氏

こころ支援セミナー

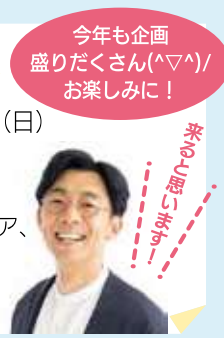
日時：令和8年11月29日(日) 13:00~16:00
 会場：イーストピアみやこ 2階・多目的ホール
 内容：ドキュメンタリー映画「笑いのたね」上映 講演会「こころの回復~誰も排除されない社会に!~」
 講師：笑いのたねプロジェクト 不登校と若者の自立を考える北上地区親の会 代表 後藤 誠子氏

しごと支援セミナー

日時：令和8年12月11日(金) 13:30~15:00
 会場：イーストピアみやこ 2階・多目的ホール
 内容：講演会「障がいの『しごと』を地域の一般企業と共に創る(仮題)」
 講師：株式会社ケアート 専務取締役 金澤 堅哉氏

はあとふるフェスタ2026

日時：令和8年11月14日(土)・15日(日)
 会場：イーストピアみやこ 2階・多目的ホール他
 内容：作品展示、ちかつinイーストピア、「夢」応援企画 ああの天津木村がやってくる!?



記載しております各種セミナー等は、感染症の状況等で、延期もしくは中止となる場合がございます。あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先 レインボーネット事務局
 TEL 0193-64-7878 FAX 0193-77-3921

会員募集

NPO法人
 レインボーネットの活動を
 応援して下さる方を
 募集しています。

会員の種類と年会費について

個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円



◆発行 NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット) 岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号 はあとふるセンターみやこエール TEL 0193-64-7878 FAX 0193-77-3921 E-mail: info@myakorainbow.com URL: https://www.myakorainbow.com/

◆発行責任者 会長 川屋 裕之

◆企画・編集 レインボーネット事務局

【腹子】 「初めて」を経験するレインボーネットの1年は、去年より長く感じる1年になるかもしれません。

レインボーネットは新しいスタンプが増えました。また、自立支援協議会の部会の名称も新しくなりました。

「初めて」はドキドキするものです。

レインボーネットは新しいスタンプが増えました。また、自立支援協議会の部会の名称も新しくなりました。

編集後記

1年の半分が過ぎました。どうして、年齢を重ねると1年が早く感じるのでしょうか。ある回答では「経験済みのことが増えて新鮮さが減るから」とありました。同じような毎日が続くのは、ある意味「幸せ」なことかもしれません。しかし、それでは生活にメリハリがありません。「初めて」の経験は1年を長く感じるための工夫になるそうです。初めての場所、初めての人、初めての仕事、初めて食べる食べ物…。いくつになっても「初めて」はドキドキするものです。